

都市住宅学会で「長江家住宅の継承プロジェクト」が 2020 年度 都市住宅学会賞・業績賞を受賞しました。

文化財保護を目的に長江家住宅をフージャースが取得し、立命館大学と連携しながら受け継いでいることを評価頂き、都市住宅学会賞・業績賞を受賞しました。

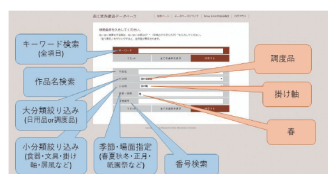
都市住宅学会とは

都市住宅に関する様々な領域の諸現象について実証的に把握し、社会システムや居住空間等の望ましいあり方を研究する総合学としての「都市住宅学」を構築することを目的として設立されています。

また、毎年、都市住宅学、都市住宅計画・事業、都市住宅政策等に関する優れた業績を、「都市住宅学会賞・業績賞」として表彰されています。



デジタル撮影の様子



春に床の間にしつらえる掛け軸を検索



データベースの検索画面

立命館大学アート・リサーチセンターは、所蔵品の調査及びそれに関する八代目当主の記憶を記録し、九〇九点に及ぶ長江家所蔵品データベースを構築した。収蔵状況やそれぞれの由緒どの部屋で使用されていたかなどが効率的に把握でき、所蔵品の保存管理だけでなく、日常管理での床の間の季節のしつらいや屏風祭、特定のテーマを設定した企画展など、あらゆる場面における所蔵品の選定や解説作成などに役立てている。
現在も文書類などの調査研究を行いながらデータベースの拡充を図っている。

所蔵品のデジタルアーカイブとその利用

産学連携の取組



↑屏風祭の継承 展示の企画、来客への説明などを連携して実施